赤い砂漠（1964）

IL DESERTO ROSSO

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア／フランス
色彩 Color
時間 116分
初公開日 1965/10/09
公開情報 東和

【解説】

Ｇ・フスコによる不思議な歌唱が流れ、無機質な工場群をピントをぼやかして写し出すメインタイトルから奇妙に引きこまれる、アントニオーニ初のカラー作品。

ヴィッティ扮する人妻ジュリアナは工場技師の夫ウーゴを訪ねに息子ヴァレリオの手を引き、殺風景な工場地帯を歩いていく。彼女は交通事故で受けた精神的ショックから立ち直っておらず、その言動にはどこか狂った所がある。夫は同僚のコラド（ハリス）を妻に紹介する。彼女は急に町に店を出す決意をしたが、まだ何を売るかも決めていない。そんな彼女に興味を持ち、店にする借家を下見に来た所を待ち受けるコラド。彼はこの地方の職人を集め、ブエノスアイレスの新工場に送るため奔走している。ジュリアナはそのスカウト活動に同行し、夫や友人たちと海辺の小屋で合流。賑やかな語らいの時を持つが、近くに停泊中の船に伝染病発生の様子をみてとり、ちょうど霧のたちこめる港でしばし錯乱してしまう。家へ帰ると、息子が幼稚園に行きたくないばかりに歩けないフリをし、懸命に世話を焼く（その時語り聞かせる、青い海と少女のおとぎ話の映像が、この重苦しい作品の一抹の救いとなる）が、真相を知るといよいよ落ち込んでしまう。彼女はコラドのもとを訪れ情事を持つが、それも助けにはならず、“恐ろしい何かがあるのは確かなのに、誰もそれについて教えてくれない”と謎めいた言葉を残し失踪する……。

色を抑えたディ・パルマのカメラが素晴らしく、時折、挿入もしくは画面を横断する原色が、コミュニケーションの途絶を象徴するようだ。アントニオーニの作品の中では、かなり率直な内容で好感が持てる。

【クレジット】

監督	ミケランジェロ・アントニオーニ	Michelangelo Antonioni
製作	アントニオ・チェルヴィ	Antonio Cervi
脚本	ミケランジェロ・アントニオーニ	Michelangelo Antonioni
	トニーノ・グエッラ	Tonino Guerra
撮影	カルロ・ディ・パルマ	Carlo Di Palma
音楽	ジョヴァンニ・フスコ	Giovanni Fusco
出演	モニカ・ヴィッティ	Monica Vitti
	リチャード・ハリス	Richard Harris
	カルロ・キオネッティ	
	ゼニア・ヴァルデリ	Xenia Valderi
	リタ・ルノワール	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.